

夕張市緑・公園づくり基本構想

—夕張市緑の基本計画—

概要版

1 構想の概要

構想策定の背景・目的

本市の公園の多くが、設置から数十年が経過しており、人口減少・少子高齢化による地域住民の年齢構成の変化に伴い、公園利用者の減少、施設の老朽化などにより半数以上の公園がその機能を維持することが困難となる一方、安全に安心して利用できる公園の整備が求められています。

本構想は、公園が抱える様々な課題に対応し、多様化する公園ニーズを的確にとらえ、「質の向上」に向けた公園のあり方や、都市づくりと連動した緑や公園の将来像、目標及び施策等を定めることを目的としています。

構想の位置付け：本構想は、都市緑地法に基づく緑の保全や緑化の推進に関する事項について、北海道みどりの基本方針を踏まえながら、夕張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針及び夕張市まちづくりマスタープランなど関連計画と整合性を図り、本市の緑の保全や緑化の推進等を示し、健康で文化的な都市生活を確保するものとして位置づけます。

構想期間：令和5年度(2023年度)～令和25年度(2043年度)

構想区域：都市計画区域内及び都市計画区域外の都市公園

2 緑・公園の現況

施設緑地：都市公園、公共施設緑地、民間施設緑地が計167箇所、面積は511.37haとなっています。

地域性緑地：保安林、地域森林計画対象民有林、農業地域、農業振興地域・農用地区域で構成され、面積は6,974.38haとなっています。

| 緑地種別 | | 箇所 | 面積(ha) | m ² /人 | 割合 |
|-------|------------|-----|-----------|-------------------|--------------|
| 施設緑地 | 都市公園 | 21 | 132.97 | 187.52 | |
| | 都市公園以外の公園等 | 41 | 3.37 | 4.75 | |
| | 公共・民間施設緑地 | 105 | 375.03 | 528.88 | |
| | 施設緑地 計 | 167 | 511.37 | 721.15 | 6.8% |
| 地域性緑地 | 保安林等、 | | 6,180.83 | 8,716.45 | |
| | 農業地域等 | | 3,180.98 | 4,485.94 | |
| | 地域性緑地間の重複 | | ▲2,387.43 | | |
| | 地域性緑地 計 | | 6,974.38 | 9,835.54 | 93.2% |

3 緑・公園の課題

<都市公園・児童遊園等>

- ・ 人口に対して公園の規模や総量が過大となっているため、今後、すべての公園を維持していくことは困難となります。
- ・ 公園利用の低下には、遊具等の老朽化による安全性に対する不安も要因となっています。
- ・ 公園の存廃方針を明確にし、地域の特性等に応じた魅力ある公園づくりが求められます。
- ・ 利用促進に向けた、市民要望に応える公園の質の向上と適切な管理のあり方の検討が必要です。

<公共施設緑地・民間施設緑地>

- ・ 公共施設の統廃合・再編に伴う緑地の縮小を抑え、修景効果の維持が求められます。
- ・ 民間施設緑地所有者との協働維持が必要です。

<山林・田園・河川の緑>

- ・ 自然環境及び景観形成に重要な山林・田園・河川を保全していくことが求められます。
- ・ 保全にあたり、維持管理する管理者及び保有者と連携することが必要です。

<緑づくりの取り組み>

- ・ 緑化活動への参加意向、意識向上の取り組みが必要です。
- ・ 地域と連携した住民参加型の取り組み推進することが必要です。

4 市民のニーズ

本市の緑や公園に関する市民ニーズを把握するため、19歳以上80歳未満を対象としたアンケート調査と、小学生・中学生・高校生を対象としたアンケート調査を実施しました。

<市民のニーズ(要約)>

- ・ 安全に安心して子どもをのびのびと遊ばせたい
- ・ 子どもの行動圏内への公園の立地
- ・ あるべき機能や設備を備えた公園の整備
- ・ 多世代が利用できる機能を備えた公園の整備
- ・ 自然環境等を活かした魅力ある公園の整備
- ・ 1箇所大きな公園を整備し、ランニングコース、遊具広場、ピクニック広場等を導入
- ・ 統廃合を進めて、残す公園を魅力的に
- ・ 安全に安心して心地よく利用できる適切な公園管理、鹿害対策
- ・ 広い公園、遊具が多い公園、行きやすい公園(小学生の要望)
- ・ 休憩施設、トイレ、自動販売機、Wi-Fiを備えた公園(中・高生の要望)

人口規模に見合った公園の適正な配置とともに、市民ニーズに対する「公園の整備」・「公園管理の質の向上」が求められています。

5 緑・公園の将来像

夕張市まちづくりマスタープラン

【基本理念】

「夕張の歴史文化・自然環境の保全と継承」

歴史文化

夕張の発展を支えた産業遺産や各地域の強いコミュニティ・きずな
(旧炭鉱住宅群跡、ズリ山、地域文化など)

自然環境

長い時間をかけて形成してきた、貴重で豊かな自然環境
(夕張岳、夕張川、貴重な動植物など)

【まちの将来像】

安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり

将来にわたり市民に愛され、長く利用されるように、公園一つ一つの質や満足度を高め、子どもたちをはじめ、子どもを支える市民や多くの利用者の笑顔が絶えない、緑・公園となるよう、夕張市まちづくりマスタープランの基本理念と将来像を念頭に、緑・公園の将来像を設定します。

【緑・公園の将来像】

「笑顔と絆を みどりがつなぐ まち、ゆうばり」

～地域の価値ある資源を未来の子どもたちへ～

笑顔：子どもたち、子どもを支える市民、交流、にぎわい など

絆：地区コミュニティ、夕張の歴史文化・自然環境など夕張のアイデンティティ など

6 将来像の実現に向けた施策

■基本方針・施策

| 基本方針 | 基本方針の達成に向けた施策 | 具体的な方策 |
|----------------------------------|-------------------|---------------------|
| 【都市公園等】 量の確保から質の向上による公園づくり | 都市公園等の再編 | 存続及び活用する公園と廃止する公園 |
| | 管理体制の構築 | 公園施設の定期点検・日常的な管理体制 |
| | 官民連携による管理・整備手法の検討 | 民間活力の導入、維持管理費の抑制 |
| 【公共施設・民間施設緑地】 市街地に癒しをもたらす緑づくり | 公共施設の緑の縮小抑制 | 所有機関・部署による保全・管理 |
| | 民間施設の緑の保全 | 適正管理に向けた情報提供 |
| 【山林・田園・河川の緑】 都市の骨格を形成する緑づくり | 山林の緑の保全 | 開発抑制を視野に入れた維持管理 |
| | 田園の緑の保全 | 営農の安定経営に基づく環境保全 |
| | 河川の緑の保全 | 河川管理者による維持管理 |
| 【緑づくりの取り組み】 市民との協働による緑づくり | 緑づくりの普及・啓発 | イベントによる緑づくり、意見交換会 |
| | 市民の緑づくりの支援 | 行政や市民活動団体から市民への情報提供 |

7 公園の具体的な取り組み

■都市公園等の整備

- 子どもたちが安全に安心して利用できる公園を提供する。
- 多世代の公園利用で運動・健康づくりを促進する。
- 公園の利用形態を見直し、交流人口の増加を図る。
- 地域資源の公園活用で新たな流れを創出する。

「まちづくりの視点」による公園の質の向上

| | |
|-----------------|---|
| 夕張市まちづくりマスタープラン | ● 若菜・清水沢・紅葉山地区の拠点形成 |
| 夕張市立地適正化計画 | ● 居住環境周辺に子供が遊べる場所を確保 ● 地域固有の資源の活用、価値の維持・発展 |

■管理体制の構築

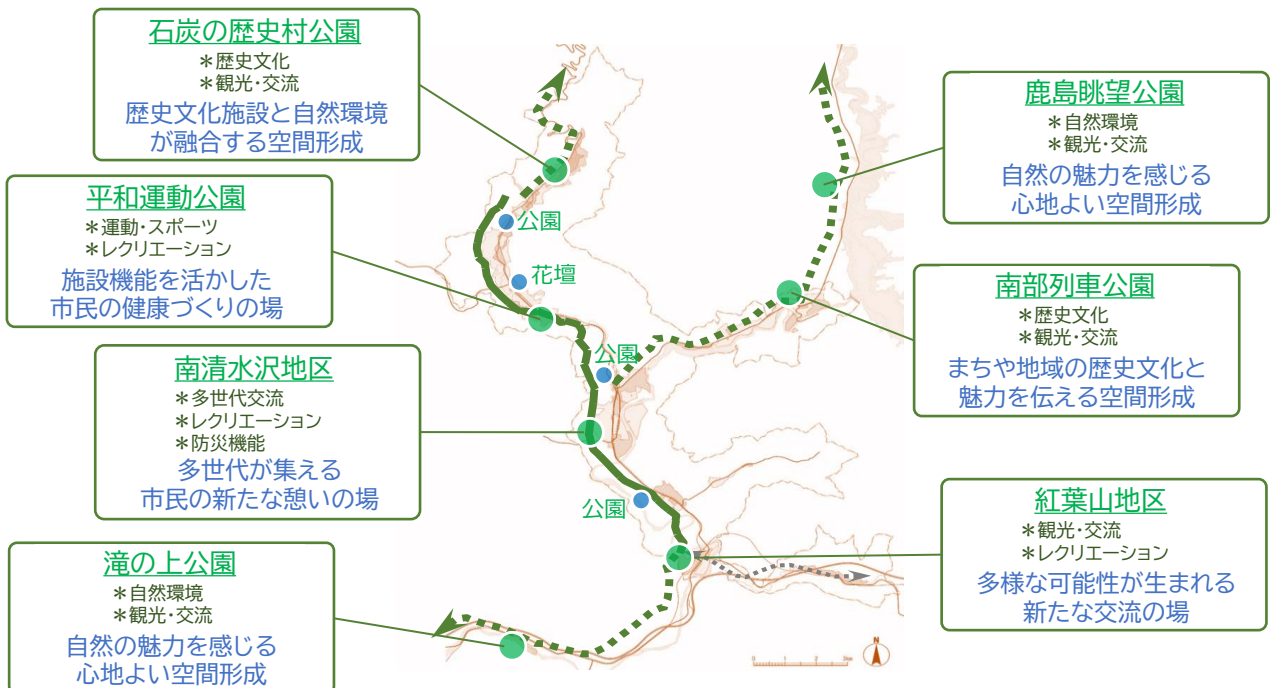
- 地域の負担を軽減し、持続的に公園機能を維持する管理体制を整える。
- 利用者の満足度を高める、公園管理の質の向上を目指す。

「5つの視点」による公園管理の質の向上

| | |
|------|----------------------------------|
| 利用者 | ● いつでも安全で安心して、心地よく利用できる など |
| 管理者 | ● 利用増加、維持管理経費の抑制、負担の軽減・効率化 など |
| 機能維持 | ● 遊具・施設の定期点検・更新、巡回・清掃・草刈り等の実施 など |
| 管理手法 | ● 民間活力、包括管理委託、維持管理経費の抑制 など |
| 管理体制 | ● 地域管理の廃止、庁内の管理体制の一元化 など |

■公園の将来配置イメージ

市全体の緑の保全と連動・共存して、公園の位置づけや役割を明確にします。各地区の緑によるネットワークの形成を目指します。



夕張市緑・公園づくり基本構想（夕張市緑の基本計画）

—概要版—

令和4年3月 発行 夕張市 建設課

〒068-0492 北海道夕張市本町4丁目2番地 TEL 0123-57-7058